

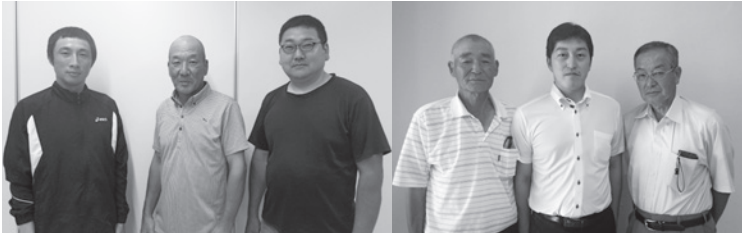


きらめく！！

ダイヤモンドファーマーズ

— 小美玉市認定農業者協議会 —

～認定農業者協議会 稲作部会～



認定農業者協議会稲作部会には市内でコシヒカリ、あきたこまち、ふくまる、ミルクークイーン、マンゲツモチ、山田錦、飼料米等さまざまな品種を栽培している生産者23名(8/9現在)が所属しています。

～稲作部会農産物の紹介～

小美玉市のお米



市内で最も多く作付されている品種は日本でも一番多く栽培されていて、生産量が長年日本一でお米の王様とも呼ばれる「コシヒカリ」で市内の主食米作付の約65%を占めています。次に多いのが「あきたこまち」で約18%となっています。また最近では茨城県のオリジナル品種で全国トップクラスの粒の大きさが特徴の「ふくまる」も栽培されています。

家畜のエサとして

市内では牛、豚、鶏などの家畜のエサとなる「飼料米」もたくさん生産されています。最近では稲の実と茎葉を同時に収穫し発酵させた牛の飼料WCS（ホールクロップサイレージ）用の稲も生産されています。WCSの利用は、水田の有効活用や食料自給率向上に貢献すると関心を集めています。

また、生産された飼料米で育った家畜のフンから作られる堆肥を活用した循環型農業の取り組みも行われています。



お酒の原料としても

皆さんは2014年にアメリカ合衆国のオバマ大統領が来日した際に安倍首相がプレゼントしたお酒をご存知でしょうか。なんとその有名なお酒の原料となる「山田錦」も一部生産者のもとで作られています。

市内生産者は美味しいお米を消費者に届けるために、各品種に合わせた栽培管理と適期収穫を行い、食味の高いお米を生産しています。市内で生産されたお米は市内直売所で取り扱われているほか、個人で直売を行っている生産者もいますので、ぜひ食べ比べてみてはいかがでしょうか。

問い合わせ

農政課 農政係 ☎：0299-48-1111 (内線 1157)